

SM4社による「持続可能な食品物流に向けた取り組み」が 「サプライチェーン イノベーション大賞2023」で優秀賞を受賞

マルエツは、2023年3月に、首都圏で店舗展開するスーパーマーケット3社と共に、「物流2024年問題」をはじめとする物流危機に対し、持続可能な食品物流構築に向けた具体的取り組みを行う宣言と合わせ、『首都圏SM物流研究会』を発足させました。

このたび、その取り組みが評価され、製・配・販連携協議会の「サプライチェーン イノベーション大賞2023」において「優秀賞」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。



表彰授与式の様子

「サプライチェーン イノベーション大賞」とは、経済産業省が事務局を務める製・配・販連携協議会が、サプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各層の協力の下で優れた取り組みを行い、業界を牽引した事業者に対しその功績を表彰するものです。



サプライチェーン
イノベーション大賞
2023

Supply chain Innovation Award

【取り組みの概要】

株式会社ライフコーポレーション、サミット株式会社、株式会社ヤオコー、当社を含む4社にて、『首都圏SM物流研究会』を発足。

持続可能な食品物流に向けた取り組みとして以下4点を実施。

- (1) 加工食品における定番商品の発注時間の見直し
- (2) 特売品・新商品における発注・納品リードタイムの確保
- (3) 納品期限の緩和(1/2ルールの採用)
- (4) 流通BMSによる業務効率化

物流効率化策を研究・検討してまいります。

▼詳しい取り組み内容はこちら

- ・持続可能な食品物流構築に向けた取り組み宣言

https://www.maruetsu.co.jp/wp-content/uploads/2023/03/230316_3.pdf

- ・『首都圏 SM 物流研究会』の発足について

https://www.maruetsu.co.jp/wp-content/uploads/2023/03/230316_2.pdf

■お問い合わせ先 経営管理部(広報) 都築・古澤 (電話 03-3590-0016)

以上